

# 〇〇〇学級 音楽科学習指導案

- 1 題材 森のおまつりでうたおう  
 2 教材 「森のおまつり」 茅島 祐美子作詞・作曲 角田 典子編曲  
 「ゴリラのうた」 上坪 マヤ作詞 峯 陽作作曲  
 「6わのあひる」 アメリカ民謡 山川 啓介作詞  
 「うさぎがピョン」 宮中 雪子作詞 溝上 日出夫作曲  
 3 指導に当たっての考え方

## 教材分析

本題材は、森の中のいろいろな動物を思い描きながら、教師や友達の表現を聴き合ったり比べたりすることで、拍やリズムを感じ取って身体を動かしながら自分なりに表現していくものである。

組曲「森のどうぶつ」は、楽曲「森のおまつり」「ゴリラのうた」「6わのあひる」「うさぎがピョン」で構成されている。森にいる動物たちが、おまつりの場に集まって歌ったり踊ったりするというストーリー性のあるものである。

特徴的な要素は以下の通りである。

楽曲「ゴリラのうた」は、4拍子のゆっくりした曲である。「むねをたたいて」のところで、手を交互に動かしながら胸をたたくゴリラの様子を思い描きながら拍をとらえて表現しやすい。「エッホッホ」のところは、四分音符で構成されているので歌いやすい。また、スタッカートがついており、元気で力強いゴリラの様子をとらえながら表現することができる。

### ゴリラのうた

楽曲「6わのあひる」は、4拍子のリズムカルな曲である。「グワグワグワ」のところでは、鳴き声をくちばし、の動きで身体表現しながら拍をとらえて歌うことができる。

「しっぽをふりふり」では、体を揺らしながら歩くあひるの様子を身体表現することができやすい。「みんなもあとから」という歌詞から、友達と並んで歩くことができ楽しく表現できる。

### 6わのあひる

楽曲「うさぎがピョン」は、2拍子の爽快な曲である。「ピョンピョンピョン」のところでは、スタッカートがついておりうさぎがはねる様子をとらえながら表現することができる。また、四分音符で構成されているので歌いやすい。全体のリズムがシンコペーションで展開されており、うさぎの動きをイメージして弾む感じで歌うことができる。

### うさぎがピョン

どの楽曲も特徴的な動きや鳴き声が入っており、歌詞と身体表現がつながりやすくなっている。また、子どもたちがよく知っている動物なので親しみやすい。

## 児童の実態

- 本学級は、1年生2名、2年生1名の計3名で構成されており、その発達段階や生活経験は様々である。
  - 歌うことが大好きで、知っている曲が流れると印象的な部分を歌うことができる。身体表現をしながら歌い、表情も豊かである。
  - 「森のかくれんぼ」では、うさぎやたぬきになって歌ったり踊ったりして楽しむことができた。しかし、拍に合わせて身体表現をするまでに至っていない。
- 各児童の実態は以下の通りである。

個別の目標		歌唱	器楽	身体表現	拍	鑑賞
A G	1年男子	小節を歌う。	教師と一緒に拍やリズムに合わせて打楽器を鳴らす。	モデル演示を見ながら手足を部分的に動かす。	小節全体の拍に合わせる。	歌や演奏の音のする方を向く。
	1年女子	小節を歌う。	教師と一緒に拍やリズムに合わせて打楽器を鳴らす。	モデル演示を見ながら手足を部分的に動かす。	小節全体の拍に合わせる。	歌や演奏の音のする方を向く。
B G	2年男子	フレーズを歌う。	一人で拍やリズムに合わせて打楽器を鳴らす。	友だちと一緒に手足を部分的に動かす。	小節全体の拍に合わせる。	友達や教師の歌や演奏をできるだけ長い間聴く。

聴く活動を中心とした主な支援	自分の思い	指導内容
<b>曲の気分や曲の特徴を聴く活動</b>  ◎ 教師の範唱の聴き取り ○ 友達の表現の聞き比べ	<b>つかむ</b> ・森のおまつりは楽しそう。行ってみたいな。 ・動物さんになって歌いたい。	楽曲に出会う場面である。森の情景図や楽曲に登場する動物のパネルシアターを見ながら聴くことで、歌いたいという意欲をもたせる。 ○ 情景図や動物の切り絵、効果音を流して森の情景を思い描くこと ○ ペープサートを操作しながら楽曲を聴くことで楽曲に出てくる動物たちの動きをつかむこと ○ 教師と一緒に歌うことで森の動物になって歌いたいという思いを持つこと 楽曲に登場する動物の動きを思い描き、自分なりの歌唱表現を工夫すること。
<b>思いに沿った歌い方を工夫するための聴く活動</b>  ◎ 教師や友達の表現の聴き比べ ◎ 自分の描いた動物を表現するための聴き合い	<b>深める</b> ・動物さんになるにはどんな動きをしたらいいのかな。 ・先生や友達のまねをして歌おう。	○ ペープサートを動かして拍やリズムを感じ取ること ○ 身体表現することで登場する動物の動きを思い描くこと ○ 手具を操作して表現することで自分なりの表現を創り出すこと 自分で創り上げた表現を歌ったり聴いたりして表現する楽しさを味わうこと
<b>思いを込めた表現を味わい、音楽のよさを感じ取るための聴く活動</b>  ◎ 教師や友達の表現のよさを取り入れるための聴き比べ ◎ 表現の聴き合い	<b>味わう</b> ・身体を動かして本物の動物みたいに歌えたよ。 ・身体を揺らして楽しそうに歌っていたよ。	○ 好きな表現方法を選んで歌うこと ○ 友達や教師の表現を聞き合うこと
<b>題材目標</b>		
○ 登場する動物の動きを思い描きながら、友達や教師と一緒に表現する楽しさを味わうことができる。 (関心・意欲・態度)		
○ 森の動物たちになって、身体表現を工夫したり手具を操作したりすることができる。 (感受・表現の工夫)		
○ 拍や特徴的なリズムを感じ取って歌うことができる。 (表現の技能)		

4 指導計画(5時間)

	つかむ①	深める③ (本時2/3)			味わう①
ねらい	楽曲「森のおまつり」に出会い、森の情景や動物の動きを思い描くことができる。	森のどうぶつ(ゴリラ、あひる、うさぎ)になって、拍の流れを感じながら身体表現をしたり歌ったりすることができる。			「森のおまつり」を振り返り、歌を歌ったり身体表現をしたりすることができる。
指導内容	・場の様子を知ること。 ・登場する動物を知ること。	A G : 楽曲に登場する動物の動きを思い描きながら、教師と一緒に擬声語や擬態語の入ったフレーズを歌うこと B G : 楽曲に登場する動物の動きを思い描きながら、教師と一緒に拍に合わせてフレーズを歌うこと			・好きな表現方法で歌ったり身体表現をする楽しさを味わうこと。
主な学活動と内容	1 楽曲「森のおまつり」に出会う。 【聴く活動①】 (1) 森の中で聞こえる鳥の声を聴きながら情景図を見る。 (2) 楽曲「森のおまつり」を切り絵を見ながら聴く。 ○ 場の様子と登場する動物を知ること <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">もりにいってどうぶつさんにあおう</div>	1 楽曲「森のおまつり」「ゴリラのうた」を聴いて、本時学習のめあてについて話し合う。 ○ 切り絵を見ながら歌うこと <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ゴリラになってもりのおまつりでうたおう</div>	1 楽曲「森のおまつり」「6わのあひる」を聴いて、本時学習のめあてについて話し合う。 ○ 切り絵を見ながら歌うこと <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">あひるになってもりのおまつりでうたおう</div>	1 楽曲「森のおまつり」「うさぎがピョン」を聴いて、本時学習のめあてについて話し合う。 ○ 切り絵を見ながら歌うこと <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">うさぎになってもりのおまつりでうたおう</div>	1 組曲「森のおまつり」を聴いて、本時学習のめあてについて話し合う。 ○ 切り絵を見ながら歌うこと <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どうぶつさんになってもりのおまつりでうたおう</div>
	2 楽曲「ゴリラのうた」「6わのあひる」「うさぎがピョン」を歌う。 (1) 楽曲「ゴリラのうた」を歌う。 ○ ペープサートを見ながら登場する動物を知ること ○ 歌詞を見ながら歌うこと (2) 楽曲「6わのあひる」を歌う。 ○ ペープサートを見ながら登場する動物を知ること ○ 歌詞を見ながら歌うこと (3) 楽曲「うさぎがピョン」を歌う。 ○ ペープサートを見ながら登場する動物を知ること ○ 歌詞を見ながら歌うこと	2 楽曲「ゴリラのうた」を歌う。 (1) ペープサートを持って歌う。 (2) 身体全体を動かして歌う。 (3) 手具を操作して教師や友と一緒に歌う。 【聴く活動③】	2 楽曲「6わのあひる」を歌う。 (1) ペープサートを持って歌う。 (2) 身体全体を動かして歌う。 (3) 手具を操作して教師や友と一緒に歌う。 【聴く活動③】	2 楽曲「うさぎがピョン」を歌う。 (1) ペープサートを持って歌う。 (2) 身体全体を動かして歌う。 (3) 手具を操作して教師や友と一緒に歌う。 【聴く活動③】	2 組曲「森のおまつり」を歌う。 (1) 好きな表現方法で歌う。 (2) 教師や友達と歌い比べをし、表現の付加修正をする。
	3 本時学習のまとめとして歌い、次時学習について話し合う。 (1) 組曲「森のおまつり」を手具を操作して歌う。 (2) 聴き合い、学習を振り返る。 【聴く活動②】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どうぶつさんになってのしくたおう</div> (3) 次時学習について話し合う。 ○ ゴリラになって歌うこと。	3 本時学習のまとめとして歌い、次時の学習について話し合う。 (1) 手具を操作して歌う。 (2) お互いに聴きあいながら学習を振り返る。 (3) 次時学習について話し合う。 ○ あひるになって歌うこと	3 本時学習のまとめとして歌い、次時の学習について話し合う。 (1) 手具を操作して歌う。 (2) お互いに聴きあいながら学習を振り返る。 (3) 次時学習について話し合う。 ○ うさぎになって歌うこと	3 本時学習のまとめとして歌い、次時の学習について話し合う。 (1) 手具を操作して歌う。 (2) お互いに聴きあいながら学習を振り返る。 (3) 次時学習について話し合う。 ○ 自分のなりたい動物になって歌うこと	3 学習したことを振り返り、歌う。 (1) 表現したいことを想起して、発表する。 (2) 表現したことを想起して歌う。 ○ 擬態語の部分と拍のとり方の確認をすること。 ○ 表現の付加修正をすること。 【聴く活動④】 (3) 表現したことを振り返って表現する。

5 本時 深める段階（3／5）

6 本時の目標

- ・ 友達や教師と一緒に身体表現をしたり、歌ったりして、音楽活動に楽しく取り組むことができる。
- ・ 森のあひるが歌ったり踊ったりする様子を思い描きながら、楽曲を聴いたり歌ったりすることができる。

個別の目標

AG	・ フレーズを歌うことができる。 ・ 友達や教師の方を向いて聴くことができる。
BG	・ 初めから終わりまで通して歌うことができる。 ・ 友達や教師の方を向いてできるだけ長い間聴くことができる。

7 準備 情景図、切り絵（ゴリラ・あひる・うさぎ）、手具（あひる）、お面（あひる）、ペープサート（あひる）、伴奏フロッピー、伴奏くん、歌詞「6羽のあひる」、絵譜「6羽のあひる」

8 本時指導の考え方

本時は、森の中で楽しく踊っているあひるの様子を思い描いて、表現することが主なねらいである。そこで、本時指導にあたっては、次のような手だてをとりながら学習を進めていく。

- まず、楽曲「森のおまつり」を聴かせて登場する動物を想起させる。情景画やビデオ、切り絵を見せることで、「森の様子を思い浮かべ、あひるになって楽しく歌ったり踊ったりしたい」という本時学習のめあてについて話し合う。
- 次に、楽曲の拍やリズムを感じ取らせるために、あひるが踊っている絵を森の情景画に貼りペープサートを持って歌わせる。そして、歌詞を見ながら一緒に歌う。AGには、声をかけながらの大きな動作のモデル演示、BGには拍を強調したモデル演示をすることで、歌詞や拍を感じ取った表現をさせたい。
- さらに、楽曲に出てくるあひるの動きを表現するために、歌詞の擬声語擬態語の部分を歌わせながら動作化させる。AGには、教師の促しや誘いかけ、対面させての手やしっぽの動きがよく分かるようなモデル演示、また、口を大きく開けて「グワ、グワ、グワ」といった擬態語を強調した歌い方の提示をする。BGには、特徴的な歌詞や拍の流れを感じながら歌うことができるように、手や足の動きがよく分かるような教師のモデル演示をする。  
そして、教師や友達と一緒に手具（あひるのお面、あひるのくちばし、あひるのしっぽ）を操作して表現させることで、登場する動物の動きや鳴き声を思い描かせる。
- そして、あひるの様子を思い描きながら拍やリズムを感じ取らせるために、友達の表現を見て、まねてみたい動きや取り入れてみたい動き、歌い方について話し合う。【聴く活動③】

【聴く活動③】について

ねらい	手だて	期待する子どもの様子
自分なりの表現から自分らしい表現へ高めるために	AG：教師による大きな動作のモデル演示を見せる。 声をかけながら一緒に表現する。 BG：教師によるモデル演示を見せる。	・ 「グワグワグワ」に合わせて手を動かしたよ。 ・ ○○ちゃんの歩き方は、あひるが楽しそうにハイキングしているみたいだね。

- 最後に、表現の高まりを実感させるために、発表・発言の場を設定する。創り上げた表現を発表し、交流することで表現の付加修正を行う。

9 展開

学習活動と内容 (○)	主な支援・学習活動における評価規準(※)
<p>1 前時学習を振り返り、本時のめあてについて話し合う。</p> <p>(1) 情景画を見たり効果音を聴いたりすることで、森のイメージを想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 森のイメージをふくらませること。</li> </ul>  <p>(2) 登場する動物に着目しながら、楽曲「森のおまつり」「6わのあひる」を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登場する動物の確認をすること。</li> </ul>  <p>(切り絵)</p> <p>(3) 本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>あひるになってもりのおまつりでうたおう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の目標を明確に持つこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森で聞こえてくる効果音（鳥の鳴き声）を聴かせる。</li> <li>・ 情景画を提示し、森で学習することを確認する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽曲「森のおまつり」を聴かせる。</li> <li>・ 楽曲「6わのあひる」を聴かせる。</li> <li>・ あひるの切り絵を提示する。</li> <li>・ あひるのビデオを見せる。</li> </ul> <p>※ 情景画や切り絵を見て、森の様子や動物をイメージする。</p>
<p>2 楽曲「ろくわのあひる」を歌う。</p> <p>(1) ペープサートを持って歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 絵譜を見ながら歌うこと</li> </ul>  <p>(絵譜)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽曲の拍やリズムを感じとること。</li> </ul>  <p>(ペープサート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペープサートを持って表現する。 AG：子どもの前で声をかけながらの大きな動作のモデル演示 BG：拍を強調したモデル演示</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身体全体を動かして表現する。 AG：子どもの前で擬態語「グワグワ」を強調した教師のモデル演示 BG：特徴的な動きを強調したモデル演示</li> </ul>

- (2) 身体表現をしながら歌う。  
 ○ 楽曲にでてくる動物の動きを感じとること。

- (3) 手具を操作して教師や友だちと一緒に歌う。  
 ○ 歌詞を振り返りながら、必要だと思う手具をつけて歌うこと。



あひるのくちばし



あひるのしっぽ  
(手具)



あひるのお面

- 教師と友達、友達同士の歌い比べをし、表現の付加修正を行う。

【聴く活動③】

3 本時学習を振り返り、次時学習の見通しをもつ。

- (1) 表現したことを振り返り、発表する。  
 ○ 拍やリズムの表現について  
 ○ 森のおまつりにやってきたあひるの表現の仕方について
- (2) 表現したことを振り返り、表現する。  
 ○ 一人ひとり発表すること
- (3) 次時学習について知る。  
 ○ うさぎと一緒に森のお祭りで歌うこと

- 手具を操作して表現する。  
 A G : 口を大きく開けて「グワ、グワ、グワ」といった擬態語を強調した歌い方の提示  
 B G : 手や足の動きがよく分かるような教師のモデル演示
- 手具を操作して表現する。  
 A G : 口を大きく開けて「グワ、グワ、グワ」といった擬態語を強調した歌い方の提示  
 B G : 手や足の動きがよく分かるような教師のモデル演示
- 個別の課題を明確にする。  
 A G : 教師と一緒に擬声語や擬態語の入った小節を歌う  
 B G : 教師と一緒に拍に合わせてフレーズを歌うこと

- ※ 動物になりきり、拍の流れにのって歌っている。  
 • 一人ひとりの表現に賞賛や励ましをすることで、満足感や充実感を持たせ次時学習の活動の意欲付けにする。  
 • 自分の表現や友だちの表現のよさを感じ取る。

場の設定

